

高校生からのメッセージ

私は高校3年間、部活動と勉強の両立に力を入れて過ごしました。

部活動では硬式野球部のマネージャーを務め、毎日、選手のサポートを頑張りました。野球部の練習は朝早くから夜遅くまで続くことが多く、精神的にも体力的にも辛くなることが多々ありました。特に私は、中学校まで野球の選手であったため、マネージャーのサポートの重要さをよく知っていたことから、より強いプレッシャーを感じていたと思います。当初は、先輩の指示どおり動くことで精一杯でしたが、2年生になり、3年生が引退してしまっただけからは、自分がしっかりしないとダメだと思い、これまで以上に周りを見て行動するように頑張りました。周りを見て行動しようと意識してからは、自分からの行動や発言が少しずつ増えていき、自身が成長しているという実感を得ることができました。

私は部活動を通して、社会性を高めることができました。例えば、挨拶・礼儀を身につけました。これにより、普段の学校生活はもちろん、部活動での遠征時、就職試験での面接などの場でも、多くの方から「礼儀がしっかりしているいいね」と褒めていただけました。また、積極性も高めることができました。マネージャーとして選手の事を考えて、自分から積極的に行動することや、発言することができるようになりました。そうしていると自然に、人から感謝されることが増え、それが喜びとなり、さらに「誰かのために行動したい。役立ちたい。」という思いが深くなりました。

こうした経験は、進路を考える上でも私に影響を与えてくれることになりました。仕事を通して、人のために行動して役に立ちたいという思いから、就職先を調べました。途中、自分が何をしたいのか、何ができるのかが、わからなくなってしまい悩むこともありましたが、就職について調べ、先生方からアドバイスをもらうことで、自分のやりたいことが少しずつ明確になりました。その結果、事務系の就職先を決めることができ、無事内定を頂くことができました。

私がここまで成長できたのは、部活動の監督、先生、両親、友人、地域の人々等の多くのサポートがあったからだと思います。今は進路も決まり一安心していますが、気が緩むことのないように毎日の生活をしっかりと送るように意識していきます。

別海高校3年A組 久保利 美彩



私は、高校生活を通して多くのことを学び、成長することができました。

私が成長することができたのは、部活動をやっていただけたと思っています。私は、女子バレーボール部に所属していました。高校では、中学の頃までライバルだった人たちと同じチームになり、最初はうまくやっていけるか不安でした。また、中学まで共に戦っていたメンバーはみんな違う部活に入り、心細く感じました。しかし、自分から話しかけ、辛い練習を乗り越えるために互いに励まし合い高め合うことで、自然と仲良くなり、信頼し合える関係になりました。先輩や後輩ともたくさんコミュニケーションを取り、わからないことや、自分が思っていることをしっかり言葉にして伝えることで、信頼関係やチームの団結力が高まり、とても充実した部活動を行うことができたと思います。

私は、中学生の頃まで、自分から話しかけたりコミュニケーションを図ったりすることが苦手でしたが、部活動を通して積極性やコミュニケーションの大切さを学び、自分は成長したなと思いました。高校生活最後の高体連は悔しい結果で終わりました。ですが、コロナ禍でも大会に参加することができ、辛い練習を共に乗り越えてきた仲間と最後まで一緒にプレーすることができて本当によかったです。また、大好きなバレーを11年間続けることができてとても幸せでした。部活動で経験したことや学んだことは、大人になっても役に立つと思います。中学生のみなさんは、高校入学後、最初は他校出身の人たちがたくさんいる中で不安かもしれません。ですが、新たな出会いがあり、そこから色々な刺激をもらうことができるので、気になる部活動があれば、ぜひ入ってみてほしいです。

最後に、勉強について話したいと思います。

高校でも定期テストはあり、私はいつも学年で5位以内に入ることを目標に頑張りました。早いうちからノートをとったり、対策プリントを作ったりしました。そのおかげで、テストで良い点数を取ることができ、学年順位でも2位に入ることができました。もちろん、テストで良い点数が取れなかったり、検定に受からなかったりして、「今までの努力は何だったんだ。」と思うこともありましたが、それでも、毎日コツコツと勉強する継続力を身につけることができたと思います。進路活動でも、早いうちから試験に向けての勉強や面接練習に取り組むことで、無事に内定をいただくことができました。これからは、別海町に恩返しができるように頑張っていきたいです。

高校生活はあっという間に終わってしまいます。だから、1日1日を大切に過ごし、いろんなことに挑戦することで、充実した高校生活を送ることができると思うので、後輩の皆さん、これから頑張ってください。応援しています。

別海高校3年C組 小茄子川 知里

「子どもの成長を見る会」後記

今年の成長を見る会も、直接子ども達の発表を見たり聞いたりできずでしたが、誌面での発表でも子ども達の考えや意見、取組や頑張り、成長を感じ取っていただけたかと思っています。先生方のご指導のおかげです。園、学校の教育現場では、地域にある自然や人、文化を教育資源として、教室内の学習につなげ、学校と地域が共に学んでいます。子ども達が、学んだことを、自信をもってもっともっと話せるといいですね。そして、「子どもの成長を見る会」で最後に歌う継承と発展の証の中西別賛歌…来年は一緒に歌えることを心から願います。

発刊にあたり、ご協力いただきました学校関係者の皆さん、地域の皆さんに、深く感謝申し上げます。

中西別地区生涯学習推進協議会 会長 民部 彰良

